

お客様各位

2026 年 2 月 6 日
セイコーエプソン株式会社
エプソンテックフオルム株式会社

エプソンテックフオルムの小型射出成形機「AE-M10」が 再生材データバンクの公式ガイドラインに採用

セイコーエプソン株式会社（以下 エプソン）およびエプソンテックフオルム株式会社（以下 エプソンテックフオルム）は、再生材データバンクに登録されるサンプル作製方法および物性・構造データ取得のために東北大学が作成したガイドラインにおいて、バージンポリプロピレン（PP）および再生 PP のサンプル作製に使用する射出成形サンプルの製造装置として、エプソンテックフオルムの小型射出成形機「AE-M10」が公式に採用されたことをお知らせします。

本ガイドラインは、内閣府主導の国家プロジェクト「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」の一環として作成され、本日第3版が公開されました。



小型射出成形機「AE-M10」

採用の背景と意義

再生材データバンクは、再生プラスチックの資源循環と産業利用促進を目的としたデータ基盤です。このデータバンクは、国の予算のもと、全国の大学や企業、研究機関が協力する SIP 第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」において推進されており、再生材のサンプルの作り方や、物性・構造データの測定方法を統一し、JIS 規格に合ったサンプルの評価・データ集積に取り組んでいます。これにより、再生材の品質を正しく分析・改善できるだけでなく、データの信頼性や追跡性（トレーサビリティ）も保証され、産業界での活用の加速を狙っています。

セイコーエプソン株式会社

本 社 : 〒392-8502 長野県諏訪市大和 3-3-5
社 長 : 吉田 潤吉
問い合わせ: サステナビリティ・コーポレートコミュニケーション推進室
0263-54-6991 / 03-5368-0961
info@press.epson.co.jp

エプソンテックフオルム株式会社

本 社 : 〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-1-43
社 長 : 前田 光男
問い合わせ: 営業部
045-642-6180
TcFORM-SalesDepartment@exc.epson.co.jp

なかでも東北大学は中心的な役割を担い、220 種類以上の再生材 PP 成形サンプルの作製・評価を進めています。そのサンプル作製のプロセスにおいて、「AE-M10」は、卓上サイズで少量の材料でも安定した成形が可能な点と、材料切り替え時の洗浄性が良い点が高く評価され、標準的に使用されてきました。

その結果、今回のガイドラインでは、「AE-M10」を使用した射出成形条件（温度、圧力、冷却時間など）が詳細に規定され、JIS 規格に基づくサンプル（B1 タイプ試験片）の作製方法の規格化が図られました。今後は、「AE-M10」を活用してガイドラインに沿った試験片を作製・評価することで、信頼性と追跡性が担保された国の認定トラストデータとして再生材データバンクに登録することが可能となります。

エプソンおよびエプソンテックフオルムは、「AE-M10」の機能や特徴を活用いただくことで、再生プラスチックの産業界への社会実装の加速と、資源循環サイクルの高度化に寄与します。

「AE-M10」の特徴

エプソンテックフオルムの「AE-M10」は「小さいものを小さくつくる」をコンセプトに、独自のフラットスクリューテクノロジーを搭載し、小型ながら高精度・高効率な成形を実現する射出成形機です。スクリューの脱着が容易であり、さらに金型までの経路が短いため材料の置換性が高く、多品種少量での量産製造や試作、研究用途にも最適です。

また標準搭載のホットランナーや、ユニット金型システムにより、材料ロスやエネルギー消費を大幅に削減することで、環境負荷低減にも貢献します。

参考

- ・ガイドラインはこちら（環境再生保全機構のホームページ）
<https://www.erca.go.jp/sip/overview/c102-2024.html>
- ・「AE-M10」の詳細はこちら（エプソンテックフオルムのホームページ）
<https://www.epson-tcform.co.jp/ja/products/precision-former.html>

以 上